

第1号議案

令和7年度事業報告及び計算書類・監査報告に関する件

令和7年度事業報告

理事長 射場 一寛

令和7年度は、私が理事長を拝命し、新体制として初めて迎える年度となりました。これまで積み重ねられてきた学術活動の価値を継承しつつ、今後の持続的な発展に向けた「組織基盤の整備」を重要なテーマとして取り組んでまいりました。

大阪府理学療法士会生涯学センター（以下、センター）は、会員の生涯学習と専門性の向上を支援し、その成果を府民へ質の高い理学療法サービスへと還元することを使命としております。この目的のもと、「研修事業」「学術大会」「研修集会」「学術誌」を柱として、多様な事業を展開してまいりました。一方で各事業の位置付けや相互の関係性を整理し、組織としての一貫した価値創出へとつなげていくことが今後の課題と認識しています。

本年度は、その基盤整備の一環として、各種規程の見直し・整理を進めるとともに、組織運営の明確化およびガバナンスの強化に取り組みました。また、今後の事業構造の再編（局・部名称の見直し等）を見据えた検討を進め、各事業を「点」から「線」へと発展させるための準備を行なった年度と位置付けております。

【学術大会の開催・学術誌の発行】

学術大会および学術誌は、職能団体としての専門性を内外に担保し、社会的信頼を獲得するための最重要基盤と位置付けています。

第37回大阪府理学療法学術大会（参加登録者2,071名）では、当日参加1,220名に対し、VOD（後日視聴）利用者が644名でした。時間的制約を受けやすい臨床現場の実情を踏まえた配信形式が参加機会の拡大および動員増加に寄与したものと評価しています。

学術誌「総合理学療法学」については、J-STAGE 公開に加え、投稿・査読システム「Editorial Manager」の導入を決定しました。査読プロセスの透明化と効率化を図り、研究成果の社会還元を加速させるとともに、学術的ブランド価値の向上を推進してまいります。

今後は、これらの学術活動の成果を他事業と連動させ、センター全体としての価値向上につなげていきます。

【研修事業】

第7回生涯学習研修集会を2日にわたり8領域の講習会を開催しました。事前のWEBセミナーの参加者は1,442名でしたが、対面講習会の参加者数は175名にとどまり、予定定員を下回る結果となりました。対面研修への参加促進に向けた導線設計およびプログラム構成に課題があると認識しています。

センター「主催」研修会（ナイトセミナー WEB 開催）は、年間 56 回開催し、延べ 9,208 名の参加がありました。オンライン形式の有効性は引き続き高いと評価しています。

新規企画として実施しました「スキルアップセミナー」（対面）は新入会員の参加費を無料とすることで、参加申し込み 240 名中 143 名（60%）が新入会員となり、入会促進に一定の成果を認めました。

市区町村士会「主催」および「承認」研修会は令和 6 年度と比較して減少しました。この状況を踏まえ、令和 7 年 9 月より申請方式を期別申請から随時申請へと変更し、事業実施の柔軟性向上を図りました。今後も市区町村士会における学術活動の活性化に向けた支援を継続してまいります。

「3 士会合同研修会」は 2 回開催しましたが、参加者数は予想よりも下回り、テーマ設定および訴求方法に課題が残る結果となりました。府民および関連職種に対し、リハビリテーション専門職の役割を明確に発信する場として再構築する必要があります。セラピストのプレゼンス向上のためにも、府民へ医学的リハビリテーションの担い手であることを示すためにも、1 つのテーマについて各々の立場で発言をし、共に議論を行い、共に歩む「3 士会合同研修会」の企画・運営を行っていきたいと考えます。

また、「研修集会」でのハンズオン形式の研修については、コロナ禍以降集客が困難な状況が続いています。一方で、専門職として実践能力の担保には不可欠であることから、実施方法の再設計を行い、令和 8 年度の事業計画に反映させてまいります。

【臨床実習指導者の育成および教育基準】

令和 6 年度から大阪府養成校協議会から継承した「臨床実習指導者講習会」、指導者の質の向上に関する「認定臨床教育者講習会」は安定して実施できており、指導者の育成の基盤として機能しています。

臨床実習教育基準については、ワーキンググループで作成した実習前評価共有シートの運用を開始しました。しかし、23 校中 8 校の導入に留まっており十分な運用とはいえません。臨床実習の質の向上と患者の保護の観点から重要な取り組みであり、導入促進に向けた働きかけを継続してまいります。

【生涯学習制度に則った研修および新人症例発表会】

前期研修の「A 初期研修」は対面および WEB にて開催しましたが、受講者数は前年度を下回る結果となりました。受講導線および制度理解の促進が課題と考えています。

後期研修のカリキュラムを活用し、計画通り講師バンクからの講師の登用を実施しました。講師育成機能として一定の成果が得られており、今後、市区町村士会での活用を視野に制度設計を進めます。

士会「承認」症例検討会は年間 638 回（症例）開催され、また、外部聴講を受け入れる施設も増加傾向にあります。士会「主催」症例検討会は年間 5 回（10 症例）開催され、延べ 1,360 名の方が参加されました。

各支部で実施していただいている「新人症例発表会」も活発に実施できました。

認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関として、2 領域（運動器と循環器）のカリキュラムも開講できました。また、センター主催の理学療法士講習会 18 件と協会助成事業の理学療法士講習会 1 件の管理を行いました。

【DX 推進およびシステム基盤の整備】

SaaS の非営利団体向けプログラムの活用によりコスト最適化を図り、システム維持費の削減を実現しました。創出された財源は他事業へ再配分可能となっています。また、Google Workspace for Nonprofits の導入および「情報管理規程」の策定により、セキュアな業務環境を構築しました。共有ドライブのロール設定（権限管理）と二段階認証の徹底は、組織全体のガバナンスレベルの向上に寄与しており、持続可能な運営基盤の確立につながっています。

【組織運営】

理事会を年間 12 回開催し、定時総会出席率は 100%（委任状含む）となりました。安定した意思決定プロセスが維持されていると評価しています。また、対外的な関係構築として、新年互礼会（参加者 102 名）や賛助企業との懇親会（参加者 33 名）を実施し、協力体制の強化を図りました。

一方で、公文書 220 件、委嘱状 157 件という膨大な事務量の増加が、役員負担となっている課題があります。今後は DX の活用により業務効率化を推進してまいります。

【総括】

令和 7 年度は、規程整備および運営体制の明確化を通じて、ガバナンスの強化を図るとともに、今後の事業発展に向けた基盤を整備した一年でした。

これらの取り組みは直ちに成果として顕在化するものではありませんが、各事業を「点」ではなく「線」として結び、学びから実践、そして成果発信へとつながる構造を構築するための重要な土台であると位置付けています。

令和 8 年度は、本年度に整備した基盤をもとに、事業構造の再編および運営体制の見直しを進め、センターの活動をより構造的に発展させてまいります。

本報告はその概要を示すものであり、各事業の詳細については資料の各事業報告をご参照ください。

令和7年度事業報告

1 学術集会の開催等による理学療法に関する研究発表事業

- (1) 第37回大阪府理学療法学術大会の準備に関する事業 【事業番号 101 学術大会部】
- ア 機器、備品の貸し出し（進行物品、電源アダプタ等）、オンライン学術大会開催に必要な備品の貸し出しを行った。
- イ 優秀演題授与に関する準備を行った。

- (2) 学術大会の運営支援に関する事業 【事業番号 102 学術大会部】

- ア 学術大会開催までのロードマップ作成や修正を行った。
- イ 学術大会開催の指針となるマニュアルの追加や修正を行った。
- ウ 学術大会準備に必要なひな形文章の見直しを行った。
- エ 第37回大阪府理学療法学術大会の開催を支援した。

日 時 令和7年7月6日（日）

場 所 グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）およびWEB会場

テーマ 「啐啄同時に向けた協働学習」

大会長 谷埜 予士次先生（関西医療大学）

副大会長 井尻 朋人先生（喜馬病院）

準備委員長 清久 昌利先生（ももの木訪問看護ステーション貝塚）

参加登録者 2,071名（協会員 1,864名、非会員 3名、学生 204名）

協会員当日参加者（対面／WEB） 1,220名

協会員後日参加者（VOD） 644名

非協会員当日参加者（対面／WEB） 3名

非協会員後日参加者（VOD） 0名

学生・他職種当日参加者（対面／WEB） 180名

学生・他職種当日参加者（VOD） 24名

演題数 160演題

一般演題 117演題（口述14セッション82演題、ポスター7セッション35演題）

査読者推薦演題3セッション12演題

新人症例発表4セッション18演題

卒業研究発表2セッション13題

<内 容>

基調講演「啐啄同時に向けた協働学習」

演者 谷埜 予士次先生（関西医療大学）

座長 清久 昌利先生（ももの木訪問看護ステーション貝塚）

教育講演「リスク管理を味方にした攻める理学療法の実践～リスクとチームを味方につける～」

演者 有蘭 信一先生（聖隷クリストファー大学）

座長 山寄 夏樹先生（玉井病院）

シンポジウム 「学術大会発表を起案して成長させる協働学習の重要性」

演者 1 小宗 英貴先生（尼崎だいもつ病院）

2 堀口 怜志先生（喜馬病院）

3 渡辺 彩先生（市立池田病院）

コーディネーター 松木 明好先生（四條畷学園大学）

山本 洋司先生（関西電力病院）

ランチョンセミナー「”装具×理学療法士”で歩行を再構築する～脳卒中者の装具療法における実践知～」

演者 増田 知子先生（千里リハビリテーション病院）

座長 宮谷 定行先生（川村義肢株式会社 義肢装具士）

河野 壮晃先生（川村義肢株式会社 義肢装具士）

協賛 川村義肢株式会社

第 37 回大阪府理学療法学術大会 優秀演題賞

*2026 年 3 月現在、表彰者の決定通知なし

新人症例発表賞

演題名「脳幹梗塞後の運動失調による転倒リスクを歩行の空間的変動性から評価した一症例」

筆頭演者 仲 祐里先生（森之宮病院）

学術賞

演題名「脳卒中患者に対する長下肢装具の臨床使用：スコーピングレビュー」

筆頭演者 浦 慎太郎先生（医学研究所北野病院）

卒業研究演題賞

演題名「呼吸フローパターンからみた誤嚥リスクと嚥下エコー評価の関連について」

筆頭演者 笠井 匠人先生（森ノ宮医療大学）

2 理学療法に関する機関誌等の発行事業

（１）学術誌の編集及び発刊に関する事業

【事業番号 201 学術誌編集部】

学術誌『総合理学療法学』第 5 巻を発行した。第 5 巻では、研究論文 5 編、症例報告 3 編の計 8 論文を J-STAGE にてオンライン公開を行った。査読委員会と協働で投稿論文のチェック・査読依頼・論文審査・校正依頼を実施し、受理論文を J-STAGE にて早期公開を行った。さらに、論文編集業務や査読業務の効率化を図ることを目的として論文投稿・査読システム「Editorial Manager」の導入を決定した。

（２）研究活動の助成に関する事業

【事業番号 202 学術誌編集部】

研究活動の助成に関する事業について検討を行った。具体的な事業内容を検討する目的として、次年度に研究支援に関するアンケート調査を実施することを決定し、その作成を進めた。

3 理学療法士等の資質向上を目的として行う研修等事業

(1) 第7回生涯学習研修集会の企画運営支援に関する事業 【事業番号 301 研修集会部】

第7回生涯学習研修集会として2025年12月21日(日)関西医科大学、2026年1月18日(日)森ノ宮医療大学の2日に渡り、多領域での8つの対面研修を開催した(運動器(下肢)橋本 貴幸先生、運動器(上肢)赤羽根 良和先生、スポーツ 田頭 悟志先生、神経系(脳卒中)森高 良樹先生、神経難病(パーキンソン病)福本 悠樹先生、循環器 北垣和史先生、呼吸 玉木 彰先生、基礎(触診)服部 隼人先生)。参加者は計175名(運動器(下肢)31名、運動器(上肢)40名、スポーツ 11名、神経系(脳卒中)34名、神経難病(パーキンソン病)7名、循環器 9名、呼吸 13名、基礎(触診)30名)であった。

また、2025年7月10日(木)から10月2日(木)の期間で小児と地域領域を加えた理論背景を中心としたWebセミナーとして開催し、参加者は計1,442名であった。(運動器(下肢)157名、運動器(上肢)238名、スポーツ 215名、神経系(脳卒中) 114名、神経難病(パーキンソン病)97名、循環器 120名、呼吸 204名、基礎(触診)120名)

(2) 研修会・講習会の開催に関する事業 【事業番号 302 研修部】

ア センター「主催」研修会(ナイトセミナー)

年間56回の研修会を開催した。当センター会員だけでなく全国の協会会員が参加できるよう平日夜のオンライン開催とした。また全研修会において、受講者が登録理学療法士更新ポイントおよび専門・認定理学療法士更新点数を取得できるよう企画し、開催後にアーカイブ動画配信を実施した。

開催概要と全56回のナイトセミナーの申込者総数、履修登録者数を以下に示す。(各研修会の内容および申込者数内訳は以下のとおりである)

ナイトセミナー

開催方法 オンライン(ZOOMウェビナー)

開催時間 午後7時から午後8時30分まで

登録理学療法士更新ポイント 1.5ポイント

専門・認定理学療法士更新点数 1.5点

申込者総数(内府士会員数・率) 9,208名(1,733名・19%)

履修登録者数(履修登録率) 6,412名(70%)

・第1回研修会

開催日 2025年4月11日(金)

テーマ 立ち上がりの動作分析～殿部離床相を中心に～

講師 井上 直人先生(喜馬病院)

カリキュラムコード 52 領域 活動体としての人間理解：基本動作

申込者数 172名 府士会員数 30名(17%) 履修登録者数 120名(70%)

・第2回研修会

開催日 2025年4月15日(火)

テーマ 基礎から学ぶ脳機能「運動失調症例の評価と介入の考え方」

講師 松木 明好先生(四條畷学園大学)

カリキュラムコード 66 領域 協調運動

申込者数 284 名 府士会員数 41 名 (14%) 履修登録者数 207 名 (73%)

・第3回研修会

開催日 2025 年 4 月 18 日 (金)

テーマ 回復期と心臓リハビリテーションのベストマッチング

講師 松木 良介先生 (関西電力病院)

カリキュラムコード 163 領域 回復期の理学療法

申込者数 153 名 府士会員数 26 名 (17%) 履修登録者数 107 名 (70%)

・第4回研修会

開催日 2025 年 4 月 23 日 (水)

テーマ 臨床での運動学習はこう考える～神経生理学の最新のエビデンス～

講師 福本 悠樹先生 (関西医療大学)

カリキュラムコード 83 領域 神経筋疾患の理学療法

申込者数 307 名 府士会員数 52 名 (17%) 履修登録者数 229 名 (75%)

・第5回研修会

開催日 2025 年 4 月 30 日 (水)

テーマ 頸部痛の理学療法技術論～悪化させない診方・触れ方・動かし方～

講師 増井 健二先生 (堺若葉会病院)

カリキュラムコード 89 領域 徒手理学療法

申込者数 345 名 府士会員数 45 名 (13%) 履修登録者数 256 名 (74%)

・第6回研修会

開催日 2025 年 5 月 7 日 (水)

テーマ がん患者と身体活動

講師 福島 卓矢先生 (関西医科大学)

カリキュラムコード 116 領域 がんのリハビリテーション

申込者数 133 名 府士会員数 23 名 (17%) 履修登録者数 99 名 (74%)

・第7回研修会

開催日 2025 年 5 月 12 日 (月)

テーマ 骨粗鬆症の病態理解と理学療法

講師 坪内 優太先生 (大分県立看護科学大学)

カリキュラムコード 87 領域 骨粗鬆症

申込者数 162 名 府士会員数 22 名 (14%) 履修登録者数 129 名 (80%)

・第8回研修会

開催日 2025 年 5 月 15 日 (木)

テーマ 肩腱板断裂術後の理学療法

講師 村木 孝行先生 (運動器ケア しまだ病院)

カリキュラムコード 85 領域 関節可動域障害

申込者数 285 名 府士会員数 60 名 (21%) 履修登録者数 217 名 (76%)

・第9回研修会

開催日 2025年5月21日（水）

テーマ 脳卒中患者の体幹機能～評価から介入まで～

講師 奥田 裕先生（帝京科学大学）

カリキュラムコード 77 領域 中枢神経疾患の理学療法

申込者数 345名 府士会員数 44名（13%） 履修登録者数 257名（74%）

・第10回研修会

開催日 2025年5月27日（火）

テーマ 基礎から学ぶバイオメカニクス「足部・足関節からみたバイオメカニクス」

講師 橋本 雅至先生（奈良学園大学）

カリキュラムコード 51 領域 活動体としての人間理解：関節運動

申込者数 401名 府士会員数 59名（15%） 履修登録者数 293名（73%）

・第11回研修会

開催日 2025年6月5日（木）

テーマ 基礎から学ぶ代謝「ダイアベティス（糖尿病）患者に対する運動療法と患者支援」

講師 野村 卓生先生（関西医科大学）

カリキュラムコード 110 領域 代謝疾患の理学療法

申込者数 136名 府士会員数 28名（21%） 履修登録者数 106名（78%）

・第12回研修会

開催日 2025年6月10日（火）

テーマ パーキンソン病における姿勢制御・歩行障害に対する介入戦略

講師 太田 経介先生（北海道脳神経内科病院）

カリキュラムコード 81 領域 パーキンソン病関連疾患の理学療法

申込者数 286名 府士会員数 40名（14%） 履修登録者数 195名（68%）

・第13回研修会

開催日 2025年6月18日（水）

テーマ 膝関節温存術（内側開大式脛骨骨切り術）後の理学療法の実践

講師 稲田 竜太先生（運動器ケア しまだ病院）

カリキュラムコード 44 領域 治療プログラム立案

申込者数 145名 府士会員数 32名（22%） 履修登録者数 100名（69%）

・第14回研修会

開催日 2025年6月27日（金）

テーマ 集中治療室における呼吸理学療法

講師 大倉 和貴先生（秋田大学附属病院）

カリキュラムコード 100 領域 呼吸理学療法

申込者数 244名 府士会員数 38名（16%） 履修登録者数 152名（62%）

・第15回研修会

開催日 2025年7月2日(水)

テーマ 基礎から学ぶエコー「下肢筋の撮像・評価と解釈」

講師 福元 喜啓先生(関西医科大学)

カリキュラムコード 38 領域 理学療法評価

申込者数 124名 府士会員数 29名(23%) 履修登録者数 86名(69%)

・第16回研修会

開催日 2025年7月11日(金)

テーマ 成長期野球選手の肩肘障害に対するリハビリテーション

講師 中村 絵美先生(順天堂大学)

カリキュラムコード 90 領域 スポーツ分野における理学療法

申込者数 137名 府士会員数 22名(16%) 履修登録者数 91名(66%)

・第17回研修会

開催日 2025年7月17日(木)

テーマ 大腿骨転子部骨折術後の歩行時痛に対する治療戦略とリハビリテーション

講師 森 英人先生(河内総合病院)

カリキュラムコード 57 領域 機能と構造、身体機能の低下

申込者数 244名 府士会員数 41名(17%) 履修登録者数 170名(70%)

・第18回研修会

開催日 2025年7月23日(水)

テーマ 生理学・運動学的側面から考える筋緊張

講師 文野 住文先生(関西医療大学)

カリキュラムコード 63 領域 筋緊張異常

申込者数 145名 府士会員数 35名(24%) 履修登録者数 99名(68%)

・第19回研修会

開催日 2025年7月29日(火)

テーマ 急性期心臓リハビリテーションの進め方～心不全編～

講師 堀田 旭先生(関西電力病院)

カリキュラムコード 101 領域 循環障害

申込者数 155名 府士会員数 25名(16%) 履修登録者数 104名(67%)

・第20回研修会

開催日 2025年8月6日(水)

テーマ 椎体骨折治療における理学療法のあり方

講師 葉 清規先生(浜脇整形外科)

カリキュラムコード 97 領域 疼痛管理

申込者数 127名 府士会員数 26名(20%) 履修登録者数 91名(72%)

・第21回研修会

開催日 2025年8月12日(火)

テーマ 脳卒中後の注意障害に対する評価とアプローチのポイント

講師 松浦 晃宏先生(広島国際大学)

カリキュラムコード 78 領域 高次脳機能障害の理学療法

申込者数 160名 府士会員数 23名(14%) 履修登録者数 109名(68%)

・第22回研修会

開催日 2025年8月21日(木)

テーマ 基礎から学ぶ薬理学「知っておきたい薬理学の基礎知識・リハ薬剤の概念」

講師 松本 彩加先生(熊本リハビリテーション病院)

カリキュラムコード 55 領域 薬理、薬物による人間の反応

申込者数 245名 府士会員数 36名(15%) 履修登録者数 166名(68%)

・第23回研修会

開催日 2025年8月26日(火)

テーマ COPDを有する方に対する呼吸リハビリテーション

講師 田中 貴子先生(長崎大学)

カリキュラムコード 99 領域 呼吸器疾患

申込者数 128名 府士会員数 24名(19%) 履修登録者数 93名(73%)

・第24回研修会

開催日 2025年9月3日(水)

テーマ 足関節外傷、障害に対する理学療法 ～メディカルチェックデータと臨床の繋ぎ方～

講師 沼澤 俊先生(森ノ宮医療大学)

カリキュラムコード 53 領域 活動体としての人間理解：活動(運動)のメカニズム

申込者数 98名 府士会員数 21名(21%) 履修登録者数 65名(66%)

・第25回研修会

開催日 2025年9月11日(木)

テーマ 基礎から学ぶ歩行運動学「正常歩行の理解と臨床での観察のポイント」

講師 畠中 泰彦先生(鈴鹿医療科学大学)

カリキュラムコード 64 領域 歩行・歩行障害

申込者数 228名 府士会員数 49名(21%) 履修登録者数 150名(66%)

・第26回研修会

開催日 2025年9月17日(水)

テーマ 周術期のがんリハビリテーション

講師 牧浦 大祐先生(神戸大学医学部附属病院)

カリキュラムコード 115 領域 腫瘍

申込者数 74名 府士会員数 15名(20%) 履修登録者数 51名(69%)

・第27回研修会

開催日 2025年9月25日(木)

テーマ 脱フレイル！多面性を考慮したアプローチ

講師 牧迫 飛雄馬先生(鹿児島大学)

カリキュラムコード 127 領域 フレイル

申込者数 132名 府士会員数 23名(17%) 履修登録者数 98名(74%)

・第28回研修会

開催日 2025年9月30日(火)

テーマ 感覚障害への介入方法～捉え方とアプローチ～

講師 福富 利之先生(脳と身体のリハビリテーションふくりは)

カリキュラムコード 71 領域 感覚障害

申込者数 236名 府士会員数 48名(20%) 履修登録者数 157名(67%)

・第29回研修会

開催日 2025年10月7日(火)

テーマ 産業理学療法介入の実践～運動機能測定を通じた就労者のプレゼンテーション改善の取り組みから～

講師 今岡 真和先生(大阪河崎リハビリテーション大学)

カリキュラムコード 155 領域 産業理学療法における理学療法

申込者数 61名 府士会員数 11名(18%) 履修登録者数 46名(75%)

・第30回研修会

開催日 2025年10月9日(木)

テーマ 心不全患者に対する運動処方の実際

講師 笠井 健一先生(松下記念病院)

カリキュラムコード 102 領域 運動耐容能

申込者数 115名 府士会員数 29名(25%) 履修登録者数 67名(58%)

・第31回研修会

開催日 2025年10月15日(水)

テーマ 変形性膝関節症の理学療法～保存療法の考え方と実際～

講師 谷口 匡史先生(京都大学)

カリキュラムコード 96 領域 疼痛に対する理学療法

申込者数 157名 府士会員数 37名(24%) 履修登録者数 107名(68%)

・第32回研修会

開催日 2025年10月22日(水)

テーマ 脳卒中後の運動麻痺や痙縮に対する最新の物理療法～電気刺激療法やショックウェーブ療法の活用～

講師 中村 潤二先生(西大和リハビリテーション病院)

カリキュラムコード 74 領域 中枢神経疾患

申込者数 80名 府士会員数 17名(21%) 履修登録者数 52名(65%)

・第33回研修会

開催日 2025年10月28日(火)

テーマ 基礎から学ぶ循環「循環器疾患の病態を理解する」

講師 森沢 知之先生(神戸リハビリテーション病院)

カリキュラムコード 105 領域 循環器疾患の理学療法

申込者数 106名 府士会員数 24名(23%) 履修登録者数 79名(75%)

・第34回研修会

開催日 2025年11月6日(木)

テーマ 凍結肩に対する理学療法～評価から治療までの基本戦略～

講師 宮坂 淳介先生(京都大学医学部附属病院)

カリキュラムコード 94 領域 疼痛:関節痛

申込者数 103名 府士会員数 28名(27%) 履修登録者数 71名(69%)

・第35回研修会

開催日 2025年11月11日(火)

テーマ 『栄養療法』を軽視していませんか??呼吸リハビリテーションに抜け落ちた最後のピース

講師 守川 恵助先生(松阪市民病院)

カリキュラムコード 140 領域 リハビリテーション栄養

申込者数 73名 府士会員数 15名(21%) 履修登録者数 50名(68%)

・第36回研修会

開催日 2025年11月13日(木)

テーマ 基礎から学ぶ画像評価「脳画像から考える片麻痺者の特性」

講師 松田 淳子先生(大阪行岡医療大学)

カリキュラムコード 39 領域 画像評価

申込者数 110名 府士会員数 25名(23%) 履修登録者数 67名(61%)

・第37回研修会

開催日 2025年11月19日(水)

テーマ 運動療法の効果を最大化する物理療法～痛みや拘縮の改善に役立つ温熱・寒冷・機械刺激～

講師 菅原 仁先生(東邦大学)

カリキュラムコード 50 領域 基本的な理学療法治療技術

申込者数 80名 府士会員数 16名(20%) 履修登録者数 51名(64%)

・第38回研修会

開催日 2025年11月28日(金)

テーマ 腰部脊柱管狭窄症に対する理学療法～エビデンスが導く!これからの運動療法～

講師 峯玉 賢和先生(和歌山県立医科大学附属病院紀北分院)

カリキュラムコード 41 領域 問題点抽出と目標設定

申込者数 204名 府士会員数 44名(22%) 履修登録者数 136名(67%)

・第 39 回研修会

開催日 2025 年 12 月 3 日（水）

テーマ 基礎から学ぶ統計「見る角度を変えれば解釈も変わる」

講 師 日高 正巳先生（兵庫医科大学）

カリキュラムコード 48 領域 研究法

申込者数 44 名 府士会員数 8 名（18%） 履修登録者数 32 名（73%）

・第 40 回研修会

開催日 2025 年 12 月 9 日（火）

テーマ 前庭機能に着目した評価と介入～中枢前庭障害症例と末梢前庭障害症例を中心に～

講 師 塩崎 智之先生（奈良県立医科大学）

カリキュラムコード 65 領域 平衡機能障害

申込者数 80 名 府士会員数 17 名（21%） 履修登録者数 55 名（69%）

・第 41 回研修会

開催日 2025 年 12 月 12 日（金）

テーマ 腎不全患者のフレイル・サルコペニアと予後

講 師 松沢 良太先生（兵庫医科大学）

カリキュラムコード 46 領域 予後予測

申込者数 64 名 府士会員数 16 名（25%） 履修登録者数 44 名（69%）

・第 42 回研修会

開催日 2025 年 12 月 18 日（木）

テーマ 重症心身障がい児（者）に対する理学療法

講 師 榎勢 道彦先生（四天王寺和らぎ苑）

カリキュラムコード 122 領域 小児・発達障害の理学療法

申込者数 128 名 府士会員数 20 名（16%） 履修登録者数 93 名（73%）

・第 43 回研修会

開催日 2025 年 12 月 22 日（月）

テーマ 人工股関節全置換術後の脚長差に対する理学療法

講 師 川端 悠士先生（JA 山口厚生連 周東総合病院）

カリキュラムコード 45 領域 エビデンス（根拠）に基づく理学療法

申込者数 158 名 府士会員数 31 名（20%） 履修登録者数 98 名（62%）

・第 44 回研修会

開催日 2026 年 1 月 8 日（木）

テーマ 人工膝関節置換術後の歩行をどうとらえるか～バイオメカニクスと運動協調性の観点から～

講 師 阿南 雅也先生（大分大学）

カリキュラムコード 84 領域 骨関節障害

申込者数 120 名 府士会員数 30 名（25%） 履修登録者数 84 名（70%）

・第45回研修会

開催日 2026年1月15日(木)

テーマ 脳卒中患者における下肢装具を用いた歩行の運動学的特徴～下肢装具の選定から装着、動作指導や作製後のフォローアップに至るまでの包括的考察～

講師 金子 達哉先生(柏たなか病院)

カリキュラムコード 148 領域 装具

申込者数 113名 府士会員数 24名(21%) 履修登録者数 65名(58%)

・第46回研修会

開催日 2026年1月21日(水)

テーマ リンパ浮腫に対するリハビリテーション

講師 井上 順一朗先生(神戸大学医学部附属病院)

カリキュラムコード 117 領域 リンパ浮腫

申込者数 103名 府士会員数 28名(27%) 履修登録者数 66名(64%)

・第47回研修会

開催日 2026年1月26日(月)

テーマ 妊産婦のための理学療法～評価と介入の実践～

講師 平元 奈津子先生(広島国際大学)

カリキュラムコード 126 領域 ウィメンズヘルス・メンズヘルスにおける理学療法

申込者数 150名 府士会員数 31名(21%) 履修登録者数 99名(66%)

・第48回研修会

開催日 2026年1月29日(木)

テーマ 基礎から学ぶ筋力・筋持久力トレーニング「生理学にもとづく筋力増強メカニズムの理解」

講師 宮本 俊朗先生(兵庫医科大学)

カリキュラムコード 67 領域 筋力低下

申込者数 250名 府士会員数 53名(21%) 履修登録者数 166名(66%)

・第49回研修会

開催日 2026年2月2日(月)

テーマ 循環器理学療法の最近の話題

講師 西村 真人先生(大阪ろうさい病院)

カリキュラムコード 106 領域 心臓リハビリテーション

申込者数 75名 府士会員数 22名(29%) 履修登録者数 46名(61%)

・第50回研修会

開催日 2026年2月10日(火)

テーマ 訪問リハビリテーションにおける必須のリスクチェック

講師 平野 康之先生(東都大学)

カリキュラムコード 169 領域 訪問理学療法

申込者数 165名 府士会員数 29名(18%) 履修登録者数 112名(68%)

・第 51 回研修会

開催日 2026 年 2 月 17 日（火）

テーマ 変形性股関節症の理学療法～保存療法の考え方と実際～

講師 家入 章先生（えにわ病院）

カリキュラムコード 58 領域 機能障害

申込者数 128 名 府士会員数 39 名（30％） 履修登録者数 87 名（68％）

・第 52 回研修会

開催日 2026 年 2 月 19 日（木）

テーマ 基礎から学ぶ疼痛「痛みの病態と臨床推論」

講師 坂本 淳哉先生（長崎大学）

カリキュラムコード 43 領域 臨床推論

申込者数 159 名 府士会員数 41 名（26％） 履修登録者数 108 名（68％）

・第 53 回研修会

開催日 2026 年 2 月 27 日（金）

テーマ 呼吸リハビリテーションにおける運動療法 Up-To-Date

講師 新貝 和也先生（霧が丘つだ病院）

カリキュラムコード 98 領域 呼吸障害

申込者数 128 名 府士会員数 30 名（23％） 履修登録者数 83 名（65％）

・第 54 回研修会

開催日 2026 年 3 月 4 日（水）

テーマ 基礎から学ぶ老年学「健康寿命・フレイルの概念と対策の実際」

講師 上村 一貴先生（大阪公立大学）

カリキュラムコード 129 領域 老年症候群

申込者数 106 名 府士会員数 22 名（21％） 履修登録者数 78 名（74％）

・第 55 回研修会

開催日 2026 年 3 月 10 日（火）

テーマ 外反母趾を正しく理解する～機能解剖から動作への影響を紐解く～

講師 中尾 英俊先生（城西国際大学）

カリキュラムコード 37 領域 臨床問題解決のプロセス

申込者数 251 名 府士会員数 43 名（17％） 履修登録者数 182 名（73％）

・第 56 回研修会

開催日 2026 年 3 月 16 日（月）

テーマ 脳卒中後の痙縮への臨床的介入～痙縮のメカニズムを知る～

講師 山口 智史先生（京都大学大学院医学研究科）

カリキュラムコード 79 領域 脳血管障害後遺症

申込者数 266 名 府士会員数 46 名（17％） 履修登録者数 191 名（72％）

イ センター「主催」研修会（スキルアップセミナー）

年間４回の研修会を開催した。大阪府下の各施設に就職した新人理学療法士の協会加入率増加を図るため、新入会員の参加を無料とした。また、大阪府下のどの施設に就職した者でも参加しやすいよう支部ごとに開催会場を設け、各支部で１度ずつ開催した。

開催概要と全４回のスキルアップセミナーの申込者総数、新入会員数を以下に示す。（各研修会の内容および申込者数内訳は以下のとおりである。）

スキルアップセミナー

開催方法 対面開催

開催時間 午後７時から午後８時３０分まで

登録理学療法士更新ポイント １．５ポイント

専門・認定理学療法士更新点数 １．５点

申込者総数（内新入会員数・率） ２４０名（１４３名・６０％）

・第１回研修会

開催日 ２０２５年６月１３日（金）

会 場 関西医療大学（南支部）

テーマ 脳血管障害患者の動作を運動学で理解する～動作観察のポイント～

講 師 鈴木 俊明先生（関西医療大学大学院）

カリキュラムコード ５４ 領域 神経・筋機能制御

申込者数 ５０名 新入会員数 ３９名（８０％）

・第２回研修会

開催日 ２０２５年６月２３日（月）

会 場 市立吹田市民病院（北支部）

テーマ 理学療法実践に必要な最新の解剖学的知見～実際の解剖所見から～

講 師 荒川 高光先生（大阪歯科大学）

カリキュラムコード ４９ 領域 理学療法の基礎領域

申込者数 ８２名 新入会員数 ４８名（５９％）

・第３回研修会

開催日 ２０２５年７月９日（水）

会 場 関西医科大学牧野キャンパス（東支部）

テーマ 高齢者に対する理学療法のポイント～加齢に伴う身体的特徴の変化を理解しよう～

講 師 池添 冬芽先生（関西医科大学）

カリキュラムコード １５７ 領域 各ライフステージの人間理解

申込者数 ３７名 新入会員数 ２７名（７３％）

・第４回研修会

開催日 ２０２５年７月２４日（木）

会 場 森ノ宮医療大学（中支部）

テーマ 関節機能障害の“なぜ？”がわかる理学療法戦略

講 師 工藤 慎太郎先生（森ノ宮医療大学）

カリキュラムコード ８３ 領域 運動器疾患の理学療法

申込者数 71 名 新入会員数 32 名 (45%)

ウ 市区町村士会「主催」および「承認」研修会

令和 7 年度の市区町村士会「主催」研修会 97 件（北支部 13 件、中支部 45 件、東支部 22 件、南支部 17 件）の管理を行った。市区町村士会「承認」研修会は申請のあった 10 件の研修会を承認した。令和 7 年 9 月には市区町村士会「主催」および「承認」研修会の開催マニュアルを更新し、各市区町村士会から研修会の申請が行いやすいよう、期別申請から随時申請に変更した。

(3) 前期・後期研修および新人症例発表会に関する事業

【事業番号 303 研修理学療法教育部】

ア 前期研修（新人ガイダンス）

日 時 令和 7 年 5 月 25 日（日）午後 0 時 15 分から午後 1 時 45 分まで

場 所 大阪国際交流センター

テーマ「A-2 協会組織」

参加者 522 名

講 師 熊崎 大輔先生（大阪府理学療法士会 会長）

イ 前期研修（センター主催）

日 時 令和 7 年 6 月 20 日（金）午後 7 時から午後 8 時 30 分まで

令和 7 年 7 月 21 日（月）午後 7 時から午後 8 時 30 分まで

場 所 オンライン開催（LIVE）

テーマ「A-6 生涯学習について」

参加者 109 名

講 師 元石 光裕先生（大阪府立大阪南視覚支援学校）

日 時 令和 7 年 6 月 19 日（木）午後 7 時から午後 8 時 30 分まで

令和 7 年 7 月 25 日（金）午後 7 時から午後 8 時 30 分まで

場 所 オンライン開催（LIVE）

テーマ「A-1 職業人と倫理」

参加者 108 名

講 師 安丸 直希先生（大阪医療福祉専門学校）

日 時 令和 7 年 6 月 18 日（水）午後 7 時から午後 8 時 30 分まで

令和 7 年 7 月 22 日（火）午後 7 時から午後 8 時 30 分まで

場 所 オンライン開催（LIVE）

テーマ「A-3 人間関係および接遇」

参加者 114 名

講 師 松野 正幹先生（照葉の里 箕面病院）

日 時 令和7年6月17日（火）午後7時から午後8時30分まで
令和7年7月24日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ「A－4 理学療法における関連法規」
参加者 111名
講 師 前川 明久先生（整形外科もりたクリニック）

日 時 令和7年6月16日（月）午後7時から午後8時30分まで
令和7年7月23日（水）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ「A－5 理学療法における情報管理」参加者 113名
講 師 中川 泰慈先生（市立吹田市民病院）

ウ 後期研修（領域別研修における士会オリジナル研修）

日 時 令和7年11月6日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ「C－1 脊髄損傷の評価と理学療法介入について」
参加者 17名
講 師 高尾 弘志先生（大阪急性期総合医療センター）

日 時 令和7年11月13日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ「C－2 骨格筋損傷直後のアイシングについて」
参加者 16名
講 師 宮川 基先生（南谷クリニック）

日 時 令和7年11月20日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ「C－3 循環器疾患患者の病態理解に必要な胸部Xpの見方 ー心不全に着目してー」
参加者 24名
講 師 森脇 嵩之先生（大阪府済生会吹田病院）

日 時 令和7年11月27日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ「C－4 生活期におけるパーキンソン病のリハビリテーション～外来 通所リ
ハビリの立場から～」
参加者 20名
講 師 加藤 慶紀先生（川口脳神経外科クリニック）

日 時 令和7年12月4日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ「C－1 脳卒中リハビリテーションにおける動作観察と運動学習の実践」
参加者 16名
講 師 福本 悠樹先生（関西医療大学）

日 時 令和7年12月11日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ「C－2 胸郭運動機能－特に肩関節との関係性を考慮して－」
参加者 20名
講 師 高山 弘幹先生（阪奈中央リハビリテーション専門学校）

日 時 令和7年12月19日（金）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ「C－3 心不全評価と理学療法」
参加者 16名
講 師 辻野 和基先生（友愛会病院）

日 時 令和7年12月26日（金）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ「C－4 慢性呼吸器疾患に対する理学療法評価と介入」
参加者 22名
講 師 大庭 潤平先生（大阪複十字病院）

日 時 令和8年1月15日（木）午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催（LIVE）
テーマ「C－2 エビデンスと解剖学に基づいた腰部疾患に対する理学療法」
参加者 15名
講 師 伊藤 悠真先生（あわ整形外科クリニック）

日 時 令和8年1月22日(木) 午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催(LIVE)
テーマ「C-3 循環器疾患患者の病態理解に必要な心エコー検査の見方」
参加者 20名
講 師 森脇 嵩之先生(大阪府済生会吹田病院)

日 時 令和8年1月29日(木) 午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催(LIVE)
テーマ「C-4 脊髄損傷後の呼吸障害・循環障害に対する理学療法」
参加者 11名
講 師 高尾 弘志先生(大阪急性期総合医療センター)

日 時 令和8年2月12日(木) 午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催(LIVE)
テーマ「C-1 中枢神経疾患後のリハビリテーションー主に痙縮に対する回復期以降の関わりについてー」
参加者 11名
講 師 岡 大史先生(大阪医専)

日 時 令和8年2月26日(木) 午後7時から午後8時30分まで
場 所 オンライン開催(LIVE)
テーマ「C-2 ACL再建術後の早期リハビリテーションについて」
参加者 14名
講 師 宮川 基先生(南谷クリニック)

エ 領域別研修(事例) 士会『承認』症例検討会

令和7年4月30回	(演題) 開催	外部募集4施設
令和7年5月46回	(演題) 開催	外部募集3施設
令和7年6月38回	(演題) 開催	外部募集3施設
令和7年7月44回	(演題) 開催	外部募集3施設
令和7年8月77回	(演題) 開催	外部募集3施設
令和7年9月56回	(演題) 開催	外部募集5施設
令和7年10月68回	(演題) 開催	外部募集3施設
令和7年11月50回	(演題) 開催	外部募集7施設
令和7年12月59回	(演題) 開催	外部募集8施設
令和8年1月43回	(演題) 開催	外部募集3施設
令和8年2月82回	(演題) 開催	外部募集9施設
令和8年3月45回	(演題) 開催	外部募集11施設

合計 638 回（演題）開催外部募集 62 施設

オ 領域別研修（事例）士会『主催』症例検討会

第 1 回士会『主催』症例検討会

日 時 令和 7 年 6 月 26 日（木）

場 所 オンライン開催（LIVE）

テーマ「E－2 運動器理学療法症例検討会」 1 題

参加者 178 名

第 2 回士会『主催』症例検討会

日 時 令和 8 年 8 月 28 日（木）

場 所 オンライン開催（LIVE）

テーマ「E－3 内部障害理学療法症例検討会」 1 題

「E－3 内部障害理学療法症例検討会」 1 題

参加者 261 名（延べ数）

第 3 回士会『主催』症例検討会

日 時 令和 7 年 10 月 30 日（木）

場 所 オンライン開催（LIVE）

テーマ「E－2 運動器理学療法症例検討会」 1 題

「E－1 神経系理学療法症例検討会」 1 題

「E－1 神経系理学療法症例検討会」 1 題

参加者 341 名（延べ数）

第 4 回士会『主催』症例検討会

日 時 令和 7 年 12 月 18 日（木）

場 所 オンライン開催（LIVE）

テーマ「E－1 神経系理学療法症例検討会」 1 題

「E－2 運動器理学療法症例検討会」 1 題

参加者 303 名（延べ数）

第 5 回士会『主催』症例検討会

日 時 令和 8 年 2 月 13 日（木）

場 所 オンライン開催（LIVE）

テーマ「E－3 内部障害理学療法症例検討会」 1 題

「E－3 内部障害理学療法症例検討会」 1 題

参加者 277 名（延べ数）

カ 「主催」「承認」症例検討会説明会

日 時 令和 7 年 12 月 3 日（水）午後 7 時から午後 7 時 40 分まで

令和 7 年 12 月 12 日（金）午後 7 時から午後 7 時 40 分まで

場 所 オンライン開催（LIVE）

参加者 60 名（延べ数）

キ 第6回新人症例発表会

中支部新人症例発表会

日 時 令和8年2月1日（日）午前9時50分から午後1時20分まで

場 所 オンライン（LIVE開催）

主幹士会 西区理学療法士会（会長 金澤 壽久先生）

実行委員長 西之原 隆宏先生（大野記念病院）

発表演題数 55 演題

北支部新人症例発表会

日 時 令和8年2月8日（日）午前9時から午後0時50分まで

場 所 大阪人間科学大学（対面開催）

主幹士会 摂津市理学療法士会（会長 奥 壽郎先生）

総責任者 奥 壽郎先生（大阪人間科学大学）

準備委員長 中西 千尋先生（茨木医誠会病院）

発表演題数 65 演題

南支部新人症例発表会

日 時 令和8年1月11日（日）午前9時から午後1時まで

場 所 大阪河崎リハビリテーション大学・オンラインLIVE（ハイブリッド開催）

主幹士会 岸和田市理学療法士会（会長 古田 宏先生）

準備委員長 古田 宏先生（岸和田徳洲会病院）

発表演題数 37 演題

東支部新人症例発表会

日 時 令和8年2月8日（日）午前9時40分から午後2時10分まで

場 所 阪奈中央リハビリテーション専門学校（対面開催）

主幹士会 守口市理学療法士会（会長 進藤 篤史先生）

総責任者 進藤 篤史先生（松下記念病院）

実行委員長 佐々木 篤士先生（かたやま内科クリニック）

発表演題数 72 演題

ク 前期・後期研修履修状況（2026年2月25日）

会員数 8,408 名

登録理学療法士取得者 3,535 名（約 42.0%）

未修了者数 4,873 名（約 57.9%）

前期研修

座学未修了 項目により 1,210～2,305 名 実地研修未修了 3,081 名

後期研修

座学未修了 項目により 1,093～4,494 名

症例検討未修了 項目により 4,370～4,434 名

（4）指導者の育成に関する事業

【事業番号 304 臨床実習教育部】

ア 大阪府士会員に向けて臨床実習指導者講習会を開催した。

期 間 令和7年12月6日（土）から12月7日（日）まで

場 所 オンライン開催

参加者 45名（修了者 45名）

（5）臨床実習教育基準に関する事業

【事業番号 305 臨床実習教育部】

ア ワーキンググループで作成した実習前評価共有シートの運用により、実習施設に各養成校で実施した実習前評価結果の情報共有を行った。（合計 8/23 校）

イ 実習前評価共有シートを使用した養成校に協力を仰ぎ、実習後に共有シートの内容について実習指導者へのアンケートを行った。

ウ ワーキンググループ会議にて、実習指導者からのアンケート結果の共有、各養成校の共有シート活用までの工夫や課題についての共有・周知を行った。

エ 府士会員に向けて臨床実習に関する情報を適宜発信した。

（6）指導者の質の向上に関する事業

【事業番号 306 臨床実習教育部】

ア 認定臨床教育者制度に基づき、講習会を計4回実施した。

（ア）認定臨床教育者講習会 Basic コース

日 時 令和7年6月14日（土）午前9時から午後5時30分

場 所 オンライン開催

内 容 講義1「クリニカル・クラークシップによる臨床実習の考え方」

講 師 中川 法一先生（日本リハビリテーション臨床教育研究会 会長）

講義2「クリニカル・クラークシップにおける教育学習理論」

講 師 酒井 吉仁先生（日本リハビリテーション臨床教育研究会 理事）

講義3「クリニカル・クラークシップにおける指導実践」

講 師 辻岡 大輔先生（清恵会三宝病院）

演習1「正統的周辺参加」

演習2「運動スキルの指導」

演習3「認知スキルの指導」

参加者 57名（修了者 57名）

（イ）認定臨床教育者講習会 Advance コース

日 時 第1回 令和7年9月14日（日）午前9時から午後6時30分

第2回 令和7年11月1日（土）午前9時から午後6時30分

場 所 オンライン開催

内 容 講義1「クリニカル・クラークシップにおける教育効果と学生評価」

講 師 日高 正巳 先生（日本リハビリテーション臨床教育研究会副会長）

講義2「クリニカル・クラークシップにおける形成的評価と指導計画総論」

講 師 日高 正巳 先生（日本リハビリテーション臨床教育研究会副会長）

講義3「クリニカル・クラークシップにおける形成的評価と指導計画各論」

講 師 山下 昌彦 先生（日本リハビリテーション臨床教育研究会理事）

演習1「運動スキル指導場面における形成的評価」

演習2「認知スキル指導場面における形成的評価」

＜演習ファシリテーター＞

都留 貴志先生（日本リハビリテーション臨床教育研究会 理事）

辻岡 大輔先生（清恵会三宝病院）

貞末 仁美先生（愛仁会リハビリテーション病院）

上村 亮介先生（市立吹田市民病院）

森下 宗之先生（フジタ病院）

参加者 第1回 28名（修了者 28名）

第2回 30名（修了者 30名）

（ウ）認定臨床教育者講習会 Master コース

日 時 令和8年2月21日（土）午前9時から午後3時30分

場 所 森ノ宮医療大学

内 容 講義1「認定臨床教育者に求められること」

講 師 中川 法一先生（日本リハビリテーション臨床教育研究会会長）

講義2「臨床教育者の育成」

講 師 日高 正巳先生（日本リハビリテーション臨床教育研究会副会長）

演習 「臨床教育者の支援」

＜演習ファシリテーター＞

都留 貴志先生（日本リハビリテーション臨床教育研究会 理事）

辻岡 大輔先生（清恵会三宝病院）

貞末 仁美先生（愛仁会リハビリテーション病院）

上村 亮介先生（市立吹田市民病院）

森下 宗之先生（医療法人藤田会フジタ病院）

川端 太郎先生（帝塚山リハビリテーション病院）

参加者 35名（修了者 35名）

イ 府士会員に向けて、診療参加型臨床実習における臨床教育者マニュアル（初版）の案内、ならびに実習指導に関する情報発信を行った。

（7）3士会合同研修会に関する事業

【事業番号 307 3士会合同研修部】

大阪府理学療法士会生涯学習センター・大阪府作業療法士会・大阪府言語聴覚士会の3士会で第2回と第3回の3士会合同研修会を企画・開催した。第2回では大阪府民を対象にした研修会であり、第2部に各士会から体験や相談ブースを設置した。

申込者数は、第2回では80名（理学療法士24名、作業療法士24名、言語聴覚士16名、一般府民16名）であり、第3回では63名（理学療法士30名、作業療法士21名、言語聴覚士12名）であった。開催内容を以下に示す。

ア 第2回 3士会合同研修会

テーマ 正しく食べる食事動作の機能と評価

場 所 森ノ宮医療大学コスモホール

日 時 令和7年9月23日（水）午後12時から午後4時まで

内 容

第1部

講演会

- ・「食事動作に必要な体幹機能」
講 師 東藤 真理奈先生（関西医療大学、理学療法士）
- ・「食事」を豊かにする環境
講 師 中村 愛子先生（大阪整肢学院、作業療法士）
- ・「安全に食べる」ための口や喉の機能
講 師 岩坂 憲一先生（医誠会国際総合病院、言語聴覚士）

第2部

相談コーナー・体験コーナー

イ 第3回 3士会合同研修会

テーマ ライフステージから見た地域リハビリテーション-小児期、成人期、老年期の立場から-

場 所 森ノ宮医療大学コスモホール

日 時 令和8年3月1日（月）午後1時から午後5時まで

内 容

第1部

講演会

- ・「小児期における地域リハビリテーション-多様なニーズを持つ子どもの在宅支援や保育所等訪問支援の実際-」
講 師 須郷 尋美先生（児童デイサービス Primo、作業療法士）
- ・「成人期における地域リハビリテーション-失語症者の“居場所”とコミュニケーション支援-」
講 師 田中 奈三江先生（泉州 ST サポート・のばな訪問看護ステーション、言語聴覚士）
- ・「老年期における地域リハビリテーション-地域在住高齢者を支える就労支援の取り組みから-」
講 師 今岡 真和先生（大阪河崎リハビリテーション大学、理学療法士）

第2部

シンポジウム「地域リハビリテーションの未来を考える」

4 目的を同じくする法人等の行う活動に関する助言又は支援

（1）認定理学療法士認定臨床カリキュラム教育機関に関する事業

【事業番号 401 受託研修部】

認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関として、2領域（運動器と循環器）のカリキュラムを開講した。開催形式はオンデマンド形式（必須15科目）、Zoomによるオンライン形式（選択5科目）で行なった。必須科目のオンデマンド視聴期間は、令和7年10月1日（水）から令和7年12月1日（月）とした。Zoomによるオンライン形式の選択科目は令和7年11月24日（月）に開催された。各領域の受講者数は運動器10名、循環器32名であった。

(2) 理学療法士講習会（協会助成金事業と府士会事業））事業に関する事業

【事業番号 401 受託研修部】

令和7年度の生涯学習センター主催の理学療法士講習会（以下、センター主催）18件（上半期11件、下半期7件）と協会助成事業の理学療法士講習会（以下、助成事業）1件の管理を行った。また令和8年度と同講習会の募集を行い、上半期センター主催10件と助成事業1件の応募があり、採択された。

5 法人の目的を達成するために必要な事業

(1) ホームページおよびSNSによる広報に関する事業

【事業番号 501 ソーシャルメディア部】

ア 当センターHPの管理運営を行った。

掲載数 HP「ニュース・お知らせ」153件、「学会・研修会情報」129件

イ SNS(Facebook、X(旧Twitter)、Instagram)の管理運営を行った。

掲載数 生涯学習センター Facebook/Instagram 71件、X 71件

生涯学習研修集会 Facebook/Instagram 44件、X 45件

ウ 生涯学習研修集会、研修会、学会などの学術関連の広報活動を行った。

エ 広報に利用する画像や動画の作成を行った。

(2) ニュースの編集およびホームページ掲載に関する事業

【事業番号 502 ニュース編集部】

ア 研修会、講習会、学会などの学術関連の広報活動に関する事を行った。

イ 当センターHPや協会の専用アプリに活動や学会などに関する掲載を行った。

おおさかPT 学びの道しるべの発行件数 9件

ウ 府士会ニュースに活動や学会などに関する掲載を行った。

府士会ニュースへの掲載件数 6件

(3) 役員の行動に伴う業務管理に関する事業

【事業番号 503 総務部】

ア 理事会開催の管理を行った。

第1回4月9日(水) 第2回5月13日(火) 第3回6月11日(水)

第4回7月9日(水) 第5回8月12日(火) 第6回9月10日(水)

第7回10月8日(水) 第8回11月11日(火) 第9回12月10日(水)

第10回1月14日(水) 第11回2月10日(火) 第12回3月11日(水)

イ 総会、学会、部会など出席の管理を行った。

第7回定時総会

期 日 令和7年6月22日(日)

場 所 A P大阪淀屋橋(大阪市中央区北浜3-2-25)

代議員 総代議員数 79名

出席代議員数(委任状出席を含む) 79名

欠席者 0名

ウ 他団体との交際の管理を行った。

新年互礼会

期 日 令和8年1月8日(木) 午後7時から午後9時

場 所 ホテルグランヴィア大阪 20階「鳳凰」(大阪市北区梅田3丁目1番1号)

参 加 会員・賛助会員75名、来賓27名 合計102名

(4) 理学療法説明会に関する事業 【事業番号 504 総務部】

新入会員に向けてセンター役員を紹介した。

期 日 令和7年5月25日(日) 午前9時から午後12時20分まで

場 所 大阪国際交流センター(大阪府大阪市天王寺区上本町8丁目2-6)

出席者 531名

(5) センター運営の支援に関する事業 【事業番号 505 総務部】

ア 理事会、定時総会、部長会議、その他諸会議の準備と運営を行った。

イ 表彰に関する準備を行った。

表彰 9件

ウ 議案書、議事録、会議資料の作成と保管を行った。

エ 公文書、申請書、報告書の発行と保管を行った。

公文書 220件

委嘱状 157件

オ センター刊行物、各種資料等の保管を行った。

カ 儀礼、慶弔対応を行った。

儀礼、慶弔の件数 48件(祝電45件、弔電3件)

キ 事務所、事務員の管理を行った。

ク 府士会を通して、協会との事務連絡を行った。

ケ センター賛助企業との懇親会を開催した。

期 日 令和8年3月6日(金) 午後7時から午後9時

場 所 ガリレア梅田(大阪市福島区福島6-24-24)

参 加 賛助企業5社9名、会員24名、合計33名

(6) 理事長活動に伴う業務管理に関する事業 【事業番号 506 財務部】

他団体との交流などの管理を行った。

(7) 局・部運営に伴う業務の管理に関する事業 【事業番号 507 財務部】

ア 局長及び理事長以外の役員に対する理事会の開催に関する財務管理を行った。

イ 各部局の部会議以外の諸会議への出席に関する財務管理を行った。

(8) 財務管理に関する事業 【事業番号 508 財務部】

ア 会計業務委託先と連携を取り財務管理を行った。

イ 年間予算の作成及び各部支出状況の管理を行った。

- (ア) 予算・決算に関する事業を行った。
- (イ) 事業収入に関する事業を行った。
- (ウ) 事業費、管理費の支出などに関する事を行った。
- (エ) 流動資産の管理に関する事を行った。
- (オ) 支給規則の遵守に関する事を行った。

ウ R7年度の下記委員会等の財務管理を行った。

- (ア) 査読委員会
- (イ) 登録理学療法士ワーキンググループ

(9) 新年互礼会の開催に関する事業 【事業番号 509 総務部】

新年互礼会の開催に関する事業を行った。

期 日 令和8年1月8日(木) 午後7時から午後9時まで

場 所 ホテルグランヴィア大阪 20 階「鳳凰」(大阪市北区梅田3丁目1番1号)

参 加 会 員 66 名、賛助会員 9 名、来賓 27 名、合計 102 名

(10) 役員選挙に関する事業 【事業番号 510 選挙管理委員会】

令和6年度に任期満了による役員改選が行われたことに伴い、令和7年度については実施していない。

(11) 情報技術の活用・支援に関する事業 【事業番号 511 システムエンジニアリング部】

ア ITソリューションサービスの提案および基盤整備を行った。

(ア) DX(デジタルトランスフォーメーション)推進に向けた最適なITツール活用案の策定・提案。

(イ) 各種SaaSサービスの「NPO向け特別プログラム」適用支援による、システム維持コストの最適化および経費削減。

(ウ) 情報セキュリティ体制の強化を目的とした、実態に即した「情報管理規程」の新規策定。

(エ) Google Workspace for Nonprofitsの導入支援 独自ドメインによるセキュアな統合クラウド環境の構築。

(オ) クラウド運用フローの確立や共有ドライブの権限管理(ロール設定)および二段階認証等のセキュリティルールの整備。

イ センター主催イベント(学術大会・研修集会等)の配信・技術サポートを行った。

(ア) 第37回大阪府理学療法学術大会におけるオンライン配信およびIT基盤の技術支援。

(イ) 2025年度臨床認定カリキュラムにおけるeラーニングならびに配信システムの技術運用支援。

ウ ICT資産および配信機器の保守・適正管理